



# 上田商店



前号の『トラブル防止のチェックポイント』につづき  
『**注意素材と役立つ情報**』を  
マルソー産業の宮本専務に  
まとめていただきました

社長	専務	部長	
----	----	----	--

事故やクレームの原因責任は各種の統計でもクリーニング業界より、  
アパレルや着用者の方に多く有る事は間違いないところでです。  
特にアパレルでは売れる商品を作る事が最優先で繰り返しクリーニング  
するというメンテナンスは二の次、三の次になっていきます。

**洗う前の点検と品質表示及び取り扱い表示の確認をお忘れなく**

vol. 108

平成20年4月21日(月)

制作: 上田商店サークル会  
毎月第3月曜日 AM8:00送信

## 「事故やクレームに対する問題」—パートII—

新年度も始まり、本当に良い季節になりました。繁忙期に入り、皆さま大変忙しくされていると思います。  
今回は、『注意素材と役立つ情報』を、マルソー産業の宮本専務に前号の『トラブル防止のチェックポイント』につづき、まとめていただきました。また、「ウェットクリーニングの場合のネットには、1点ずつ入れるようにする。2~3点入れると摩擦で同じ結果なので、是非1点ずつ入れるようにしましょう。」との事、  
少しでもトラブルを減らす参考にしてください。  
上田サークル会 会長 上田 良堂



### 染料の酸、アルカリ反応による変色

(酸・アルカリ反応というのは正式名称ではありません)

ドライクリーニングで部分的に、又は全体が  
ピンクに変色しますが、アンモニア水を10  
倍くらいに薄めたアルカリを持っていくと簡  
単に消えます、又、グリーンに変色した場合  
は酸で消えます。

クレームの対応次第では「金銭的な弁償」や「信用失墜による顧客の消失」  
につながります。又、アパレルに責任を  
追及する場合も相応の知識が必要です。  
知識があれば事故やクレームになるこ  
とを防止する事に役立ちます。

### 注意素材 ① 劣化・形状変化

- ① **ポルウレタンコーティング**  
(べたつき、光沢消失、剥離などよく売  
れているものだけにクレームも多い)
- コーティングの寿命は製造後3年程度。
- クリーニングに出て来た都度説明すること。

### ② ポリウレタン弾性糸

- (品質表示はポリウレタン、スパンデックス)
- ストレッチ性のある衣類に使用されている。
- 5~6年で糸が弱わり、クリーニング中に切れる。この為洋服が波打った状態になつたり、ハリがなくなります。
- 塩素系漂白剤で分解。又、熱に弱いので高熱や伸ばした状態でのアイロンかけは厳禁です。

構糸に織り込まれた弾性糸が蒸気熱で収縮した



### ③ 抄織糸

- (コウゾやミツマタなど紙幣に使われる紙)
- 和紙を細く裁断し燃やをかけて糸にする。
- 綿糸などを芯にして和紙を燃り、巻きつける。
- クラボウの和紙にテニム(ジーンズ等で広がっている。)
- 横糸に抄織糸、縦糸に綿糸。
- 王子ファイバー(オージョ、OJO+)の表示)  
マニラ麻で紙を作り、コヨリ状に燃り上げた新紙繊維素材。
- ※ 紙なので水溶性の汚れを吸収しやすい。ウエットクリーニングが適するが、風合いや手触りに変化が起きる。取り扱い表示も「ドライ石油系」となっているようである。洗い方としては、  
1) 毛羽立ちを防ぐためソフトネットに入れ、ソフトコース又は短時間洗いをする。  
2) ガンなどを使った部分シミ抜きはできません。  
3) 水に落とすことに目信が持てない場合はドライだけにする。

### ④ 塩化ビニル

- ドライクリーニングで可塑性が溶け出し、硬化、ヒビ割れを起こす。(修復する加工剤があります。)
- リバーシブルのジャンパーなど、中に塩化ビニルのフィルムを貼っているものも有りです。これをドライし熱乾燥すると、フィルムが硬化した上に熱で溶けて生地に接着され、剥がしてもきれいになりません。フィルムを購入して縫い直すか、弁償です。

### 注意素材 ② 耐熱性

- ① **PTT**(ポリトリメチレンテレフタレート)  
品質表示は殆どポリエステルです。  
ポリエステル(PET)の一種で03年から市場に出ています。従来のポリエステルに比べ優れた点多く、特にストレッチ性に優れています。問題点は、融点が230℃とナイロンと同程度で熱に弱いことです。(従来のポリエステルの融点は255℃~260℃)

これからは表示がポリエステルであっても「従来のポリエステルとは違う。」という認識を持って処理することが必要でしょう。

### ② 形状記憶ポリエステル

形状記憶スーツなどのように、製品にした後に加工するのではなく、糸の段階で形状記憶性の機能をもたせて織物にしたものです。

☆長所  
着用中にできたシワをなでるだけで元に戻せます

- ★**注意点**  
以下のように変化したものは元に戻せません
- 100℃以上の熱で形状記憶性の機能が損なわれる
- 120℃以上の熱で風合いが柔らかく変化する
- 150℃以上の熱で変色する恐れがある

(処理方法)  
石油系ドライ・自然乾燥が原則、アイロンは不可。「取り扱い表示」を確認しましょう。

### ③ ポリ乳酸繊維(トウモロコシでん粉が原料)

- ★**注意点**  
熱に弱い。融点が170℃・結晶化してガラスのようにもろくなる温度が57℃

(処理方法)  
風乾・自然乾燥が原則、タンブラー乾燥は不可。アイロンは不可。(シワの回復性がある)

これらから出回る可能性のある素材です

### ④ ステンレス糸使用製品

タテ糸に綿・レーヨン・ポリエステル等を使用し、ヨコ糸にステンレス糸を使用。ヨーロッパで大流行し、日本でも07年の秋冬から本格的な販売が見込まれる。

◆品質表示: 「金属繊維(ステンレス)」  
輸入品は「METAL」・「INOX」

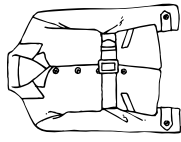
- ★**注意点**
  - 着用中についたシワは取れません。ですから、無理に伸ばさないことが大事。
  - 高い熱はかけられません。(周りの糸が収縮し、ステンレス糸が伸びて飛び出します)
  - くり返しの折り曲げでステンレス糸が折れて飛び出すことがあります。
  - 皮膚にチクチクするような刺激があることがあります。
- 40ミクロン以下のステンレス糸使用のもの・縫い代の始末が良くない場合に起きることがあります。また、クリーニング後にクレームになる可能性があります。りますので、十分な説明が必要です。

### 注意素材 ③ 染色

- ① **オーガニックコットン**
- ② **オーガニックウール**

オーガニックコットンは以前から販売され、肌着や寝具、タオル等に加えてジャケットなど外衣にも使用されています。

オーガニックウールは07年度から市場に出ています。  
どちらも染色に化学染料は使用されず草木染めとも言えるものです。  
従って染色堅牢度が低い  
という問題点があります。  
品質表示は「コットン」「ウール」です。(だから困る)



### ③ 綿100%の濃色折り目ズボン

- 固い素材なので、折り目部分が色々な場所  
所で接触し摩擦で染色が取れてしまします。
- 受付や点検の際に折り目でたたまれたまま  
ま見ると発見できないため、トラブルになつて  
います。クリーニング店様も水洗い後の  
絞りによる脱色と見られる方がいらつちや  
います。
- 受付時に折り目部分を広げて確認しまし  
よう。

この情報に関するお問い合わせ・ご注文は、  
お気軽に右記の(株)上田商店 までお願いいたします。

☎ 電話 06(6633)4621 担当: 上田  
☎ FAX 06(6633)4625 (24時間受付中)

☐ 営業時間 AM 9:30~PM 5:00 (月~金)  
☐ URL <http://www.uedashouten.jp/>